



# いぼりの里だより

月刊—第232号

2026年  
6月号

社会福祉法人回精福祉会

- ・いぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・ワークいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型）
- ・フレンドいぼりの里（生活介護/就労継続支援B型/就労移行支援）**ワーク、フレンド利用者募集中です**

・地域活動支援センターいぼりの里

- ・日中一時支援事業いぼりの里
- ・グループホームいぼりの里
- ・障害者相談事業所いぼりの里

**一般相談と計画相談受けたまわります**



※ホームページは → [Google「いぼりの里」で検索](#)

Instagramは → [ホームページから「iborinosato2」で閲覧](#)

6月に入りました。6月といえば雨の季節で梅雨入りを迎えます。稲沢市では大塚性海寺のアジサイが見ごろで、今年も大塚性海寺歴史公園・性海寺で『稲沢あじさいまつり』が開催されます。園内一帯にアジサイが咲き誇り、人々の目を楽しませてくれます。アジサイが色とりどり咲いている自然を満喫しながら散策しましょう。いぼりの里の外出レクでは、ワークとフレンドがあじさいまつりに出かける予定です。楽しみにしてください。

さて、障害福祉サービスの利用者の総数は、1152.8万人であり、人口の約9.3%に相当、そのうち身体障害者は423.0万人、知的障害者は126.8万人、精神障害者は603.0万人です。4月のたよりで課題に触れましたが、新たな課題が浮かびあがってきました。実は、日本精神科病院協会から4月6日付で厚生労働大臣あてに「障害福祉サービスについての要望書」が提出されました。精神障害者を対象とするグループホームや関連サービスにおいて、営利を目的とする企業の急速な参入・拡大が進み、支援の質の低下、人権への配慮を欠いた運営、医療から切り離された不適切な処遇など看過できない問題が各地で生じてきた。支援に手間を要する障害者の受け入れ回避、就労率・定着率の達成を目的とした利用者の囲い込み、外出制限や事実上の隔離などがある。これ以上の営利企業(営利を目的としている企業やフランチャイズを募集している企業)の参入を停止すること、営利企業が利益追求のために障害福祉サービスを使うことには、大幅な制限をくわえること等を要望しました。とても衝撃的な内容ですが、厚生労働省の机上の対策ではなく現実感のあるものでした。今後は、令和9年4月の報酬改定に向け、6月から関係53団体から現場の実情を把握するためのヒアリングを行います。さらに新たな課題が浮かびあがるかもしれません。障害福祉の変革期がすぐそこまで来ているように感じます。今後、私どもいぼりの里では、その変化の情報について注視まいります。決して変わらないもの「障害福祉サービスの質の確保」に向け努力していく方針です。

令和8年6月1日 障害者相談事業所(理事) 上條 正木



## 〈玄関横の花壇について〉

玄関横の花壇に、今年は「日々草」と「マリーゴールド」を植えました。「コキア」は昨年植えたものがひとりばえしています。マリーゴールドは夏休みの自由研究で観察日記をつけましたのでとても懐かしい植物ですね！

## 〈家族昼食会のご案内について〉

土用の丑の日にうなぎを食べましょう！7月25日(土)12時、いぼりの里食堂に集合！

※利用者さまとご家族さま、ご一緒にお召し上がりください。

【営業日の変更】7月25日(土)の「うなぎの日家族昼食会」に伴い営業日の変更をします。

7月18日(土)営業日 → 休日 7月25日(土)休日 → 営業日

## 〈施設見学、地域交流等について〉

6月8日(月) 明治地区民生委員・児童委員 17名の方が施設見学にみえます。

6月10日(水)いなざわ特別支援学校小学部 25名「ふれあい発見推進事業」で施設見学にみえます。

7月下旬 稲沢市内小中学校特別支援学級担当の先生が施設見学にみえます。

地域の民生委員、いなざわ特別支援学校の児童、稲沢市内小中学校特別支援学級担当の先生がいぼりの里の活動内容や利用者の皆さまの日頃の様子を見にきます。見学時には、皆さまのプライバシーに配慮しながら実施致します。地域との交流を大切に開かれた施設運営に努めてまいりますのでよろしくお願い致します。

